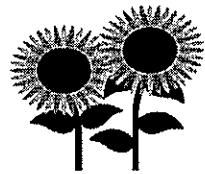


## 夢・努力・感動 ～生徒とともに～

令和2年7月31日(金)  
人権・同和教育部だより  
1年 生徒・保護者版

みなさんこんにちは、人権・同和教育部です。1年生の皆さんは、入学早々、長い休校期間に入り、本格的な学校生活のスタートは6月でした。1学期の定期試験は期末試験のみの実施となり、さぞかし緊張したことでしょう。少しずつ日常の学校生活が戻ってきています。ただ、マスクの着用や手洗い、うがい、換気、消毒など、新たな生活様式として学校生活も変化しています。様々な場面で、できることが限られる中で、他者と協力し、主体的に課題を解決していく姿勢を身に付けていきたいところです。

さて、今回の人権・同和教育部だよりは主に6月に行われた人権HR活動について振り返ってみたいと思います。



### 1年生人権に関するHR活動(6月10日実施)・・・「大切なものは」

今回の人権に関するHR活動の目標は「自他の考え方や立場を尊重しながら共に生きようとする態度や心の姿勢を養う」ことです。自分にとって「大切なものは」何か、グループワークを通して考えてもらいました。以下、HRの活動内容と、生徒の皆さんの意見・感想をまとめてみました。

#### ○HR活動の内容

次のA～Jの10の項目を、自分が大切だと思う順に、「1」「2」というように順位をつけていきましょう。他にも大切だと思うものがあれば、項目を追加して、それにも順位をつけよう。

- [ ] A:自由
- [ ] B:健康
- [ ] C:友情
- [ ] D:平和な世界
- [ ] E:快適な生活
- [ ] F:裕福であること
- [ ] G:退屈しない生活
- [ ] H:人から認められること
- [ ] I:すべての人に平等なチャンスがあること
- [ ] J:自分の選んだ職業で、将来、一流になること

◇それを一番に選んだのはなぜですか。

◇それを下位だと考えたのはなぜですか。

◇みんなの意見を聴いて、メモをとろう。

◇グループで話し合った結果(まとまらなければ、みんなの意見で出たものをメモしておこう)

◇班の発表を聴いて、メモをとろう。

#### ○本時の感想(生徒の皆さんの感想)

・話し合いで、意見を聞いた時、一瞬「それ!?!」と思うこともありましたが、理由を聞いたなら納得しました。そして、「大切なものはこれなのか?」と自分の意見を疑問に思うこともありましたが、これからは自分の意見や考えだけで物事を判断するのではなく、周りの意見や考えも尊重したり、求めたりしたいと思いました。

・僕は他人の考えを否定していた時があったけれど、自分だけが正解ではないと改めて思いました。どれも生きていく中で大切であり、考えていなかったことも出てきたので、頭に入れておきたいです。これからは様々な考え方があるということを理解し、その考えも分かり合っているような生活

をしたいです。

・私は、これが一番大切というものはあまりありません。正直、時と場合によって変わります。今日は一位を友情にしましたが、そこにたどり着くまではたくさんの物事があります。健康だったり、平和だったり、何事も一位にする前には必ずなくてはならない項目があると思います。だから、一位は決められませんでした。友達や、別の班の意見を聞いて改めてそう思いました。今日の授業はとても良い授業だったと思います。

・健康が一番に選んだ理由で、健康じゃないと何もできないという意見もあったけど、それについて自分は考え方が違うなと思いました。「健康じゃないと何もできない」と言われると、現在病気で入院している人たちは何もできないと言っていることと同じになるからです。少しは行動を制限されるかもしれませんが、病気になったからといって、何もできないわけではありません。そういう周りの人たちのことも考えながら自分の意見を言っていけるようにしたいです。

・今、自分が付けた優先順位は年を重ねるごとによって変わっていくと思います。自分のその時の最善の選択ができるようになりたいです。この活動を通して、人の考えを聞き、違いを認め合うことが大事だと感じました。

・皆さんの書いた感想を読んでいると、自分の意見を伝えたり、熱心に自分以外の仲間の意見や考え方に耳を傾けたりしながら、考えを深めていた様子が伝わってきます。一人ひとり異なる考え方を持っていることに改めて気づいたという意見も多く見受けられました。さらに、自他の考え方、立場を踏まえ、「大切なものは」時と場合によって変化するように感じている人もいます。様々な価値観に触れることで、自分の考え方を振り返ることができたように感じます。

今回の内容を受けて、2学期も人権に関するHR活動が実施されます。引き続き、周囲の仲間の気持ちを大切にしながらより良い人間関係を築くためにはどう行動すればよいか考えてみて下さい。

#### 学校生活アンケート結果より

6月に「いじめ・学校生活に関するアンケート」を行いました。このアンケートの目的は、大社高校の皆さんが安心して学校生活を送ることができるようにすることであり、今後も学期に1回ずつ実施する予定です。

自由記述欄のある問9では、「クラスや部活の雰囲気は良くて楽しい」、「困っている時に助けてくれる優しい人がいる」、「生徒同士はもちろん、先生とも気軽に話せる環境だと思える」といった学校生活に肯定的な意見が多く寄せられました。しかし一方で、「悪ふざけで汚い言葉を使う人がいる。そういう人に苦手意識がある」、「お互いを尊重できている部分もあるが、できていない部分もある」、「休み時間などでTPOをわきまえずに大騒ぎをする人がいる」といった否定的な意見もありました。

人が不快になるような言葉を学校生活で使うべきでないことは誰もが知っているはずですが、冗談がエスカレートした結果、気づかないうちに場の雰囲気を悪くさせている場面があるようです。

1学期の終わりにあたり、改めて自他の言動を見直し、お互いに気持ちよく過ごせるようなコミュニケーションをとることを心がけて欲しいと思います。また、以前から担任の先生を通して注意があったと思いますが、引き続いて新型コロナウイルスに関して偏見を持ったり、差別やいじめをしないように気をつけてもらいたいと思います。

このアンケートには、「コロナによる休校の影響で、友達と接する時間が少なくて寂しかった」というような意見もありました。先日行われた校内球技大会でのみなさんの笑顔を見ていて、お互いにふれあうことの大切さを改めて実感しました。困ったことがあれば、すぐに担任・部活動顧問・教科担当の先生などに相談して下さい。

部活動大会の中止など、あらゆる面でコロナに振り回された1学期でした。2学期は休校をすることなく通常の学校生活を送ることができるよう願っています。

森山祐司(数学科) 今岡雅卓(国語科) 水師敏樹(地歴・公民科)